

年中行事には是非ご参加ください

年中行事（正月祈祷・春秋彼岸・お盆法要）には是非ご参加ください。お盆の法要（おせがき）は近在の和尚様方

が出頭されて厳肅に行われます。春と秋の彼岸は、工夫をこらした催し物をしています。正月祈祷は一年をすがすがしい気分始めるための10分ほどの法要です。本堂はすべて椅子席です。お墓参りをするだけでは供養にはなりません。寺での行事にご参加ください。

お参りはご家族そろって！

寺やお墓参りはご家族でお参りください。自然と親から子へ、子から孫へと引き継がれます。寺との関係も自然と理解いただけます。

年忌法要後の食事は寺でもできます

壇信徒会館（三階建）は年忌法要後の食事にお使いいただけます。壇信徒会館の二階は椅子席で十八席。三階は畳に座布団で四十名くらいまで会食できます。出張して食事を用意してくれる店もご紹介できます。

墓所の工事をする時は寺へご連絡ください

各家の墓所を大きく改修する時、あるいは小さな修理等でも施工する石材店に工事をする上での注意事項がありますので、寺へご連絡ください。なお、墓地を整備したため、十力所ほどの新しい区画があります。ご親戚やお知り合いが必要とされる方がおられましたら、お願ひすることができます。詳しいことは寺へ直接ご連絡ください。



日曜の朝の坐禅会

毎週日曜日の朝六時から七時まで、松岩寺本堂での坐禅に一般の方も参加できます。朝六時に鐘をつきますから、それまでに本堂に入ってください。初心の方にも丁寧に坐り方をご案内します。三十分ほど坐って休憩、残りの十五分ほど坐って、最後に般若心経をよんで七時には終わります。

別紙に「霊園管理費のお願い」を同封しました。

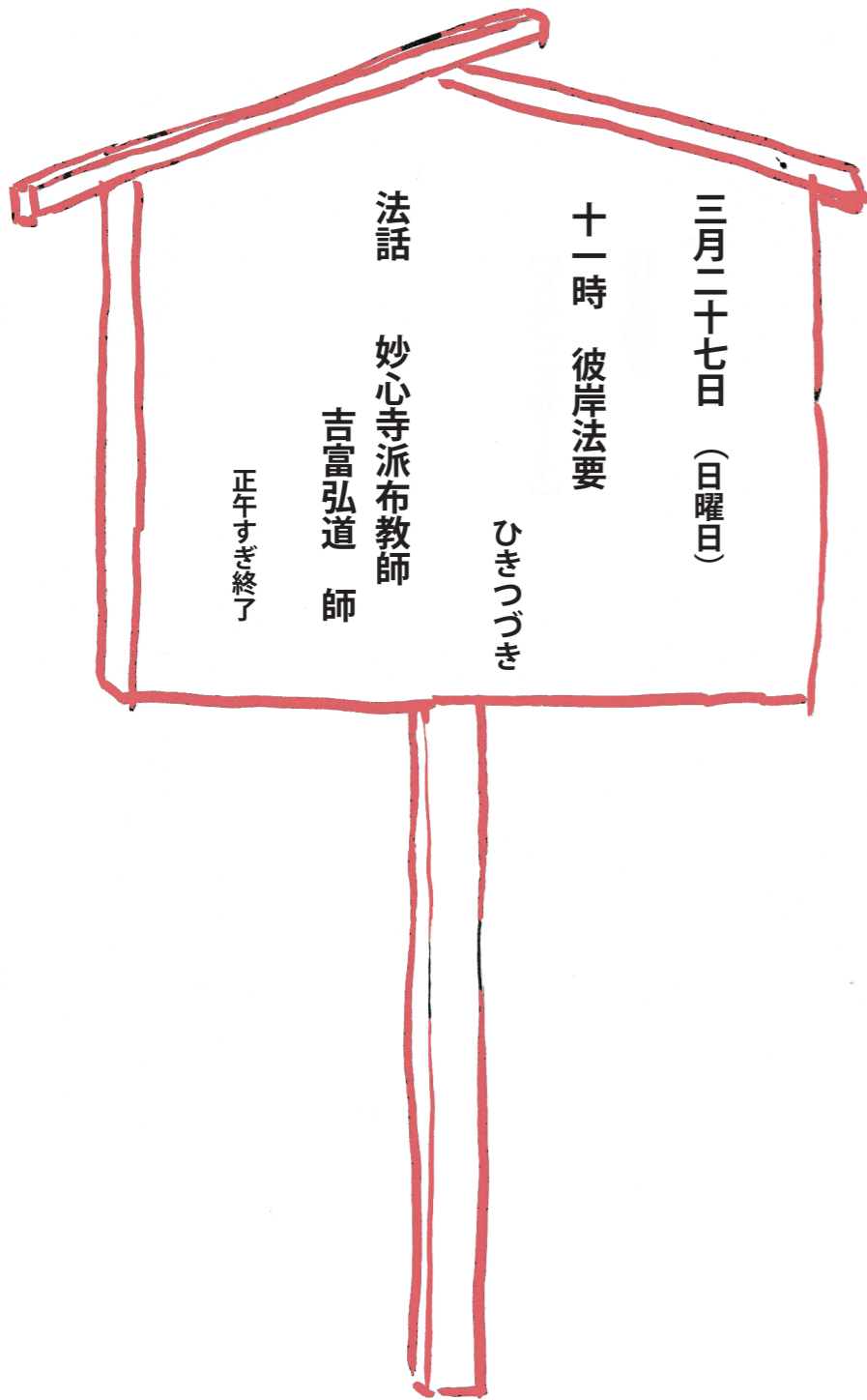
気仙沼海産物予約販売

ご好評にこたえて、気仙沼海産物の予約頒布をします。予約は3月10日までに。詳細は別紙をご覧ください。

本堂は全部椅子席です。席を用意する都合上、ご出席の方は電話・FAX等でご連絡ください。

春の彼岸法要後、妙心寺派布教師吉富弘道師の法話を拝聴します。吉富師は福岡県柳川市の天叟寺のご住職で、五年前まで妙心寺派管長下侍の侍衣（じえい）をされていました。侍衣は現代社会でいえば、秘書室長の役目です。終了後粗飯の用意があります。ご家族でお越しください。おまちしています。

3月17日（木曜日）から21日（月曜日）まで、墓地では花と線香を用意しております。霊園管理費のお願いが別紙にあります。



編集後記

○境内の梅が、二月十四日に開きました。例年より、二週間以上早い開花です。墓地の入り口にある梅は、一月末から咲きました。墓地の梅は、以前は手入れをしていなかったのですが、ここ十年ほど時期がきたら植木職が剪定しています。その甲斐があつて、枝ぶりがよくなりました。○お墓まいりをして、気づく方もおられるでしょうが、某家の墓所内にあつた、背の高いヒノキを根元から伐採していただきました。本当は伐りたくなかったのですが、枝に宿る鳥の糞が周囲の墓石を汚すので、断腸の思いで伐りました。伐ろうか残そうかと、二年間様子を見ながら、悩んだあげくの決心でした。○木を一本伐る決定ができずに、二年間も悩んだのは、「だからお寺はダメなのだ」と笑われてしまつてしょう。でも、気が進まない時は、一度、退散して様子を見るのも大切です。あるいは、面倒な出来事に直面した時、「今はお釈迦さんがやるな」と言っている。そう、都合よく解釈して自己には甘いわたしです。○都合よく解釈するといえば、二十年ほど前に妙心寺派の布教師になる試験を受けて、わたしは不合格になっていました。一緒に不合格になった受講生に、橋本宗久という方がおられました。芥川賞作家の玄侑宗久師です。そんな方と共に不合格になったのが自慢です。変な自慢ですが。芥川賞作家も落ちたテストですから、かなり難関です。その難関を突破した布教師さんが本山より派遣されて、二十七日の彼岸法要後に法話をしてください。どうぞ、お越し下さい。（住職記）